

こころん 通信

Vo. 9 2015年1月発行

発行:社会福祉法人こころん
〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字下根岸 9
TEL:0248-54-1115 FAX:0248-53-3063
URL <http://www.cocoron.or.jp>



年始にあたって

新年明けましておめでとうございます。こころんの新たな10年に向かったの年明けです。

こころんファームの開設から、生産、加工、販売のいわゆる六次化を実現したことは、大きな一歩です。こころんファームの意気込みには、目を見張るものがあり、その心意気は、こころんブランドをつくり上げ、流布することに注がれています。利用者の皆さんと、スタッフのひたむきな佇まいに感慨を催します。

地域の皆様のあたたかいご理解・ご支援によって支えられて来ているものと確信しています。これらの一連の活動に対して、それぞれ絶ゆまざる連携によって、実現されていることを強く実感いたします。

これまでの運営経過のうちには、解決・解消しなければならない課題も出てきています。里山再生プロジェクトにも掲げた、「山好、水好、人好」、あるいは近江商人の言う「売手よし、買手よし、地方よし」に因み、「来る人よし、こころんよし、地域よし」という風にならないものかと考えます。

こころんチームがより一層連携を深め、周囲から更にその存在を認められるべく一同志をあらたに次の一歩を進めて参ります。

更なるご指導、ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

社会福祉法人こころん 理事長 関 元行



「チャレンジショップにこにこ屋」閉店

毎週木曜日、白河市内の中心街である本町商店街で、空き店舗を利用して「チャレンジショップにこにこ屋」を営業していました。

「こころや」の支店でもある「にこにこ屋」は空洞化した商店街で買い物に不便を感じているお年寄りや、近所の人たちが、午前 11 時の開店を待ちきれないで早くから並んで待っているほど人気のあるお店でした。

ボランティアの藤田さんと安野さんは毎回欠かさず、漬物やお茶を用意しておもてなしを忘れずに参加して下さるので、お年寄りのお茶のみサロンにもなっていました。

しかし古い店舗をお借りしていたので、震災後はトイレが使えなくなったり、水道管が破裂してしまったりと使用するには限界に達してしまい、今年の 5 月に閉じることになりました。



移動販売車「こころやカー」が行く！

毎週木曜日「にこにこや」に代わって、移動販売車「こころやカー」が白河市の本町のマイタウンの駐輪スペースでお店を開いています。

他にもこころやカーは、団地や仮設住宅、役所等にも販売に行きます。

仮設住宅に住む人々は東日本大震災の原発事故以来、知らない街で不安な毎日を過ごしていますが、こころやスタッフの暖かさに触れ、心待ちにしてくれています。そしてたくさんお買い物してくださいませ。

その他、泉崎天王台団地、八雲団地、白河市福祉センター、保健福祉事務所、郡山方面にも販売に行きます。皆さん、見かけたら声をかけてくださいね。



白河市の仮設住宅での移動販売

●現在の移動販売スケジュール●



cocoroya car

| | 販売地域 | 主な販売場所 |
|---|---------|--|
| 月 | 白河市、泉崎村 | 小峰園、南湖こころのクリニック、ひもろぎの園、泉崎幼稚園、天王台団地、八雲団地、 |
| 火 | 郡山市 | 緑ヶ丘団地 |
| 水 | 郡山市 | 内環状線うねめ通り周辺 個人宅 |
| 木 | 白河市 | 白河市 マイタウン白河前 |
| 金 | 白河市、泉崎村 | 仮設住宅、県南保健福祉事務所他 |
| 土 | 休み | |
| 日 | 休み | |

こころん収穫感謝祭 in 直売・カフェ こころや



去る平成26年10月11日(土)に、こころん収穫感謝祭が、直売・カフェこころやに於いて盛大に行われました。これは、こころや8周年記念の一環として、こころんの各事業所(こころや、なごみの家、ファーム、こころん工房、矢部農場等)が秋の収穫を祝い、お客さまに普段からのご利用を感謝したものです。



当日は晴天に恵まれ、泉崎第一小学校の元気のいい和太鼓で始まりました。各事業所のそれぞれの出店はもちろん、泉崎商工会恒例の焼きそば、キッズコーナー、海源卵つかみどり、また日頃からお世話になっている生産者の方々のコンテナ市など盛り沢山の内容でした。

こころやカフェは当日限定のグリーンカレー、レッドカレーを用意し、豚汁、チョコバナナと共に人気を博していました。

お客さまも、無料でふるまわれた甘酒を飲みながら、お店の果物・梨、ぶどう(スチューベン、ナイアガラ)などや野菜、加工品(魚、喜多方ラーメンも好評)も買い求められました。そして、空くじなしのお楽しみ抽選会で景品を当て、大喜びでした。

私事ですが、こころやに8年も勤められるとは、開店して働き始めた時には想像もしていませんでした。今年で9年目、10周年までもう一息。これはスタッフのみなさん始め、生産者の皆さま、お客さま、地域の皆さまに応援されて出来たことだと思います。本当にありがとうございます。そして、こころやはすっかり地域に根ざしたお店となり、私達もそこで働けることを喜び、感謝したいと思います。末永く直売・カフェこころやをよろしくおねがいいたします。(栄)



🍴🍴 よみがえりのレシピ

こころやでは生産者会議の一環として、3月8日に映画

「よみがえりのレシピ(渡辺智史監督)」の上映会を開催します。山形発のドキュメンタリー映画『よみがえりのレシピ』は、在来作物を見直す動きを、日本をはじめ世界中で起きている食や農業への問題への処方箋(レシピ)として伝えるドキュメンタリー映画です。

独自の料理法で在来作物の存在に光を当てた“山形イタリアン”「アル・ケッチャーノ」の奥田政行シェフと、焼き畑農法を研究する江頭宏昌先生、そして手間を惜しまず種(たね)を守り続ける農家の人たち。その笑顔と心意気を感じることで、何気ない日々の生活が少しだけ違って見える、そんな魅力が溢れた作品です。



上映会場などの詳細が決まりましたら、こころんのホームページ等でご案内いたします。鑑賞ご希望の方はぜひお気軽にお問い合わせ下さい。

🎬 映画上映会を開催します

季節は冬ですね。農場で働く私達にも鶏たちにも厳しい季節です。朝、出勤してまずエサを与えます。鶏は1列に並んだゲージで待っています。エサ箱にはほとんどエサは残っていません。エサは適量与えなければなりません。多すぎても少なすぎてもいけないのです。エサやりは海源卵の味、風味そして豊富な栄養素を含ませる為の作業ですから神経を使う作業です。作業時間は40分～60分です。



エサやりを終えたら卵を集めます。今の季節ですと9:00～9:30の時間帯に作業開始です。卵座という1枚に30個卵を立てておけるトレーを左手に持ち卵を取り始めます。卵は尖がっている方を下にして置くのが基本です。ひとつひとつ手作業で取っていきます。鶏の入っているゲージの足元が斜めになっていて卵を産むと卵がコロコロと転がって鶏の前に出てくるようになっています。卵を全て取り終わったら朝の仕事は一段落します。

昼ごろには、私たちが「エサならし」と呼んでいる作業をします。朝に与えたエサを食べきっている鶏もいますし、残している鶏もいます。ゲージの前にエサ箱は1列に長くなっていますから、朝に与えたエサをもう一度均等になるよう「ならし」のです。表現が難しいのですが、長いエサ箱に残っている量のエサをエサ箱の端から端まで同じ量にして食べ残さないようにします。この作業をすると鶏たちは、一斉にエサを食べ始めます。またエサを与えられたと錯覚してしまうのかもしれないですね。私にはまだまだ勉強不足で本当のところはわかりかねますが。水もたっぷり与えます。エサだけでは食いつきが悪いのです。水があって、初めてエサを勢いよく食べてくれます。

卵の話をししましょう。卵は選別機にかけて2L・L・M・MSの重さに仕分けされます。実際にはそれ以外の重さの3LやSもあります。3Lは2Lサイズよりも大きく、20個を1パックとして販売しています。なかなか店頭では見かけることは少ないと思いますが、常時販売しておりますので、興味を持って下さる方は「こころん」までお問い合わせ頂ければ嬉しいです。



もう一つの卵Sサイズですが、こちらは雛を新しく農場へ入れた時のみ、期間限定の卵です。雛が生まれて120日を過ぎた頃からぽつぽつと産んでくれます。小さいですが栄養価が高いと言われ、人気がある卵です。



エサについてお話しします。パック詰めされた卵にはサイズ表記ともう一枚緑色の紙が入っています。そこには私たちが毎日与えているエサに含まれている数多くの飼料原料が書かれています。海洋ミネラルを含んだ魚粉・カキガラ・海藻を多く含んだ飼料を配合したエサが海源卵の味と風味を作っています。

私たち農場の一員は、エサやり、水やり、選別、そしてパック詰めとすべて手作業で仕事をしています。鶏は生き物ですから、養鶏の仕事は365日休みはありません。大変なこともありますが、毎日が充実して働いています。

これからも生産している一員として、海源卵を手にとって頂いた方に「おいしい！」と喜んで食べていただけるように日々努力していきたいと思っています。(小林茂美)



農福連携 高まる期待

障がい者の就労の場の提供や収入確保が課題である福祉作業所等が農業に取り組むことで、農家の高齢化・後継者不足の問題解決につなげるのが「農福連携」です。全国的に様々な事業所が農業に取り組んでいます。島根県ではコーディネーターを配置するなど、農業と福祉作業所の橋渡しを積極的に進める自治体も出てきています。島根県では農家及び就労系障害福祉サービス事業所のニーズ把握、農作業の情報収集・掘り起こし、農作業受委託のマッチング、契約支援、農作業研修の開催などの支援を提供しています。

日本農業新聞の連載「農福連携・高まる期待」の8月16日号・23日号では、こころんの養鶏場や農業への取り組み、こころやで農産物や加工品を販売する直売所、六次化についての取り組みが紹介されました。こころんファームでは、遊休農地を活用して、約1.4ヘクタールの農地で無農薬、無化学肥料の農業に取り組んでいます。

農福連携 高まる期待

福徳農産物販売所がある社会福祉法人「こころん」は、障がい者の就業促進を目的とした事業（農福連携）を推進している。一般の事業所の雇用が困難な障がい者の就業促進を目的とした就業支援事業（農福連携）を推進している。A型は、障がい者の就業促進を目的とした就業支援事業（農福連携）を推進している。B型は、障がい者の就業促進を目的とした就業支援事業（農福連携）を推進している。C型は、障がい者の就業促進を目的とした就業支援事業（農福連携）を推進している。

こころん① 地域の生活課題解決

販売額が伸びて収入となる。1カ月の売上額は直売所が10万円、移動販売が5万円、合わせて15万円にも上っている。移動販売では、販売する野菜は、農家から直接仕入れ、新鮮な野菜を販売している。障がい者にとっては、農業だけでなく、加工や販売など多様な働き場を確保している。また、こころんでは、地域の高齢者にとって障がい者を含む地域住民が安心して暮らせるよう取り組んでいる。移動販売の交通手段が限られた障がい者の買い物支援にもなっている。また、福徳が取り組んでいるのは、地域の農業生産に関わる課題解決に役立つだけでなく、地域住民の生活課題の解決にも貢献している。

（A）社会福祉主任 研究員・濱田 謙一（B）同（C）同

農福連携 高まる期待

社会福祉法人「こころん」は、障がい者の就業促進を目的とした事業（農福連携）を推進している。一般の事業所の雇用が困難な障がい者の就業促進を目的とした就業支援事業（農福連携）を推進している。A型は、障がい者の就業促進を目的とした就業支援事業（農福連携）を推進している。B型は、障がい者の就業促進を目的とした就業支援事業（農福連携）を推進している。C型は、障がい者の就業促進を目的とした就業支援事業（農福連携）を推進している。

こころん② 地域資源の受け手に

当初、養鶏場がこころんの障がい者（利用者）を12人受け入れ、障がい者就業促進を目的とした事業（農福連携）を推進している。利用者は、障がい者就業促進を目的とした事業（農福連携）を推進している。A型は、障がい者の就業促進を目的とした就業支援事業（農福連携）を推進している。B型は、障がい者の就業促進を目的とした就業支援事業（農福連携）を推進している。C型は、障がい者の就業促進を目的とした就業支援事業（農福連携）を推進している。

（A）社会福祉主任 研究員・濱田 謙一（B）同（C）同

「働きたい！」の応援隊



しらかわ障がい者就職面接会開催

平成26年11月6日(木)、ホテルサンルート白河にて、平成26年度しらかわ障がい者就職面接会が開催されました。主催は厚生労働省福島労働局、白河公共職業安定所（ハローワーク白河）。

同会は、障害者の就職促進及び県内企業における障害者の雇用促進を図るため、平成20年度より定期的に開催されており、本年度は10月から11月にかけて、県内6か所で開催されました。しらかわ会場では、就職を希望する障害者75名と障害者の雇用に取り組んでいる企業23社が集まり、貴重な出会いの場となりました。

こころんでは毎年、この面接会に向けて勉強会を開催し、職業選択の考え方、履歴書の書き方、面接の受け方などに取り組み、一般就労を希望するメンバーを支援しています。7年間で9名の利用者がこの面接会をきっかけに就職しています。



活・動・報・告



10月24日●施設旅行「東京スカイツリー&浅草」

今年の施設旅行はどこに行くのだろうか？9月の後半を迎えた頃「今年は施設旅行が無いらしい」と、噂もちらほら。毎年恒例、ころんビックイベントの一つだった行事が無くなってしまふのは寂しいなと思っていたやさきでした。突然の施設旅行参加募集の告知！気になる今回の行先は東京スカイツリー&浅草散策の日帰りツアー。去年のディズニー旅行に参加できなかった僕は今年こそリベンジと思い、旅行に参加しました。

当日の天気はまずまず、貸し切りバスに乗り込みいざ東京へ出発！道中の車内も賑やかでした。日頃、皆それぞれの部署で作業に追われなかなか交流する機会も少ないのでこういった機会はとても貴重です。

スカイツリーに到着したころん一行。まずは全員で記念撮影。展望台行きのエスカレーターに乗り一気に上まで上昇！さすがスカイツリー。展望デッキからの眺めはなかなかのもの。ガラス張りになっていた場所に立ってみるとさすがに「怖っ」と声が出るほどでした。その後はそらまちで買い物やお昼を満喫。楽しい時間はあっという間に過ぎ、次の目的地である浅草に出発。現地につくとそれぞれグループに別れて自由行動。浅草寺の煙を浴び、お参りをし、お決まりのおみくじを引き、初めての浅草を楽しみました。

帰りのバスの中「次の施設旅行は温泉がいいな」という声がちらほら。歩き疲れたかな？僕も次回温泉がいいな。願わくは泊りで。なんて（笑）

若干急ぎ足の旅？ではありましたが、ケガや事故もなく心配された迷子もいなかったのは本当によかったのではないのでしょうか。今年行けなかった方、来年の温泉... いや、施設旅行に参加して交流を深めるのもいいものですよ。（小野崎）

12月16日●そばうち教室

年末が近づくとつれ、新そばの味が気になりだします。昨年12月16日、ころんでは今年もそば打ち大会が行われ、自分たちで打ったそばを味わいました。参加した人は年々腕が上がり、スピーディーに、仕上がりもきれいにできるようになりました。師匠の増子さんが原料や道具を準備して指導して頂いたのですが、今年は郡山から七宮仁さんが応援してくださり、大いに盛り上がりました。



自分で一人ではなく、ペアで組んだメンバーにも、気遣いながらそばをこね、苦労して作ったので、普段作ってもらって食べるのとは違い、特別な感情がわいてきて、とてもおいしく食べた。

僕はファームで野菜を作っているけれど、調理班の人はいつもこういう気持ちで食べているのかなあと、自分で調理をすることも、「おいしく感じさせるのだ。」と思った。（K.S）



こころんチャリィアート展

平成 26 年 11 月 15 日(土)・16 日(日)に、第 10 回こころんチャリィアート展が開催されました。

今年は 23 名の出展者のご協力があり、絵画・陶器・木工・仙画・フラワー・革細工・とんぼ玉・手作り小物・写真・水石などの作品が集まり、作家さんの素晴らしい感性を間近に見ることができ、感動しました。



こころんもアート展を通して、日頃の取り組みも見て頂き、描いた作品や作っている商品を見て、買っていただく機会にもなりました。

今年は 10 周年とあって、何か変化をつけてご来場下さった方々に「今年はまた違うね」と新鮮な感動を伝えられたらと実行委員一同話し合っていたのですが、結局は例年通りのスタイルになりました。



毎年、新しい作家さんを募集していますが、なかなか見つからないのが実情です。皆さんのお知り合いに、何か素晴らしい物を作っている、描いているという方がいましたら、ぜひご紹介して頂きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

2 日間の来場者は 200 人を越え、作品の売上は 367,980 円、カフェや茶道・こころや外販の販売を含めると 940,820 円となりました。本当にありがとうございました。感謝の一言につきます。(渡辺厚子)



施設だより

～こころんの各施設の近況をお伝えします

こころん工房●ガトーショコラ新発売

こころん工房は今冬、新製品のガトーショコラを発売しました。クーベルチュールチョコレートを贅沢に使い、濃厚な味わいに仕上げました。クリスマスの時期には注文が相次ぎ、うれしい悲鳴をあげていました。

価格は 7 号サイズ 3,000 円、5 号サイズ 1,600 円、カット(40g)150 円(税別)です。バレンタインの贈り物にいかがでしょうか。



こころんファーム●くん炭づくり始めました



有機農法に取り組んでいるこころんファームは 11 月より、くん炭作りを始めました。くん炭とは、もみがらをいぶし焼きにして炭化させたもので、用土に混ぜることで通気性や保水性が増す効果があり、根腐れ防止やアルカリ性である特性を生かし、酸性の土を中和させることができます。



また、微生物の棲家として、とても有効なものです。自分たちの畑で活用するのはもちろん、ご希望の方には販売もしています。(30L : 1,000 円)

THANK You! イベント支援を受けて、販路拡大へ



平成 26 年 12 月 13 日(土)・14 日(日)の 2 日間、埼玉県越谷市で、「ふくしまの旬の食&ご当地キャラフェスタ in イオンレイクタウン越谷」が開催され、こころんが出店しました。

出店にあたっては、県南農林事務所やふくしまの恵み PR 支援事業のご支援をいただき、販売に必要な卓上冷蔵庫や、のぼりなどを整備しました。これからも積極的にイベントに参加し、売り上げ UP していきたいと思っております。ありがとうございました。

寄付・寄贈をいただいた方 (順不同)

【寄附金】

石下峻一郎 様 鈴木泰子様 吉田孝雄様 加藤桂一郎様
 落合紳一郎 (医療法人落合会) 様

【寄贈品】

小津 和枝様:お茶道具一式 株式会社村上様:紙袋
 株式会社ディーアンドエムホールディングス様:(梱包資材)

■□■こころん後援会にご入会ください■□■

社会福祉法人こころんは、障がいのある人びとが、地域の中で安心して生活できるよう、「障がいのある人も無い人も安心して暮らせる地域作り」を目指しています。

こころんの活動に賛同しご協力頂ける会員を募集しています。会費は無料です。ぜひご入会下さい。

*会員について

この会に賛同する個人及び団体または事業所を対象とします。

会員の皆さまには会報をお届けします。

各種行事等のご案内を差し上げます。(行事に、ボランティアで参加することもできます。)

| 活動報告 | 今後の予定 |
|--|---|
| 9月3日 映画鑑賞 9月18~23日 こころんお彼岸セール 9月24日 職場見学会 10月11日 こころん収穫感謝祭 in こころんや 10月24日 施設交流旅行 (東京スカイツリー&浅草寺) 11月6日 障がい者就職面接会参加 11月15・16日 こころんチャリティーアート展 11月29日 こころん手作りパン教室 12月16日 こころん新そば祭り 12月27日 大掃除 | 1月10日 こころん新年大売出し 1月20日 就業セミナー 1月31日 福島県授産事業振興会 新製品開発コンクール出品(こころん工房) 2月3日 豆まき(こころん) 恵方巻き販売(なごみの家) 2月11日 白河だるま市出店予定(こころん・なごみの家) 3月8日 「よみがえりのレシピ」映画上映会 3月中旬 お彼岸セール(こころん) |
| 初積雪の朝、こころんや駐車場に登場した雪だるまくん。目はジャガイモ、鼻はニンジン、口は芽がらでできています。 | 編集委員 佐藤栄一 小林茂美 小野崎浩二 穂積浩江 根本翔太 高澤宣彦 植木千花 |